

# 『アドバンス・ケア・プランニング(ACP) を含めた意思決定支援について』 ～ 取り組み紹介～



国立病院機構 九州がんセンター  
サイコオンコロジー科／緩和ケアセンター  
大島 彰



# 意思決定支援については 当院医療者にも葛藤がありました(あります)

治療でこんなに  
苦しむとは...

がんセンターに  
見捨てられた...

患者さんが本当に  
望んでいたことは？

本当にあの治療法で  
良かったのだろうか...  
緩和ケア主体のほうが...

患者や家族は納得  
していたのだろうか...



## 『病院をあげての意思決定支援プロジェクト』

# 当院における意思決定支援の現状調査

- 意思決定支援に関する医療者の困難度調査

当院の医療者(2012年3月:医者・看護師392名対象)

「標準的抗がん治療後の治療目標に関する患者・家族の  
意思決定支援の調整が難しい」⇒65%



「標準的抗がん治療後の治療目標に関する患者の意向や価値観が明確で  
ないため、医療者間で一貫した目標設定が難しい」⇒54%

「将来のもしものことをあらかじめ話し合うことは、患者家族がつらく  
なるのではと心配である」⇒37%

「患者の全身状態が実際に悪くなってしまった際に行なわれる、今後の  
治療やケアの話し合いがとても困難」

# 『病院をあげての意思決定支援プロジェクト』 当院の意思決定支援に関する取り組み

2012年

- 意思決定支援に関する医療者の困難度調査
- 2月～意思決定支援推進プロジェクトチームの立ち上げ

- 2013年にかけて院内外でACPに関する講演会、講習会、勉強会(木澤義之先生)  
＜緩和ケア作業部会にて(各診療科医師・各部署看護師・メディカルスタッフ総勢40名)＞
- 5月～「ACPを進めていく上で患者・家族・医療者にとって良い点・困難になる点」
- 6月～「あなたの気持ちの確認用紙」「医療者間の情報共有シート」の実際の中身を検討
- 11月～ACP「患者・家族教室」開始

2014年

- ACPの取り組みについて院内全職員対象の研修開催
- 各部署でのACP勉強会、説明用のDVD作成、院内ポスター掲示
- 患者の意向や思いを引き出すコミュニケーション(ロールプレイ)
- 7月～ACP「あなたの気持ちの確認用紙」運用開始

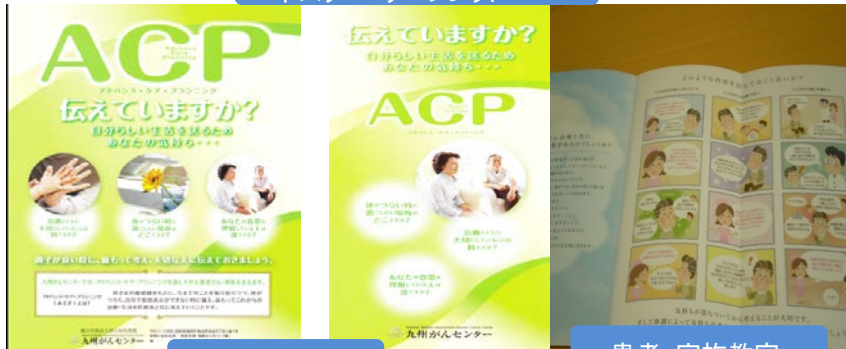
院内全体を巻き込んでの取り組みが必要(大事)でした！！

# ACPを活用した意思決定支援の病院全体の取り組み

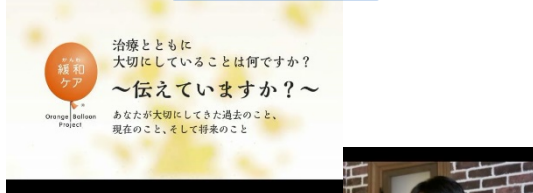
## 患者・家族への啓発活動

- ◆ポスター・リーフレット作成
- ◆DVD作成（入院テレビでの無料動画）
- ◆毎月、患者・家族を対象とした教室

ポスター・リーフレット



DVD作成



患者・家族教室



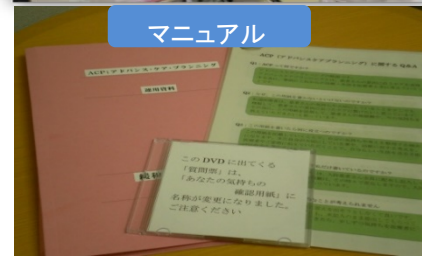
## 医療者へ教育・マニュアル

- ◆ACPの勉強会(病院全体と各部署)
- ◆コミュニケーションスキル勉強会(委員会・病院全体)
- ◆意思決定支援マニュアル・手順作成
- ◆コミュニケーションマニュアル
- ◆Q&A作成
- ◆DVD作成

勉強会



マニュアル



DVD作成



普段からくり返しあなたが大切にしてきたことを話しておくことが重要です。

# 九州がんセンターで導入したツール ～意思決定支援シート～

2013年度から緩和ケア作業部会で緩和ケア委員を中心に  
各科・各部署の意見を取り入れながら作成

## 1. あなたの気持ちの確認用紙

\* 患者さんが記入



## 2. 意思決定支援に関する医療者間の 情報共有→電カル【ACP】欄に

\* 医療者が記入

# 意思決定支援シートの目的

- あなたの気持ちの確認用紙を記入することで患者自身が今後のことを考えるきっかけや整理ができる
- 治療や生活についての患者の考えを引き出すコミュニケーションができる
- 患者の気がかりや希望・治療の認識を医療者間で共有し、今後の方向性を共有することができる
- 終末期になって患者・家族が戸惑わなくてすむように、早くから「もしも」の時のことを考えることができる



**医療スタッフが、患者・家族の意向に沿った  
関わりを持つことができる**

# ACP「あなたの気持ちの確認用紙 1枚目」

1 / 3 ページ

患者ID: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_  
カネ: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_

あなたの気持ちの確認用紙 ～自分らしい生活を送るために～

\* この用紙は治療の同意書ではありません。  
治療やケア・生活のことで気持ちに変化があれば、その都度記入してください。

記載日 西暦 年 月 日 記載者氏名 \_\_\_\_\_

病気になる、治療や生活などについて不安になることが多く、この確認用紙を用いて、今後の治療のことや大切なこと、生活の中で大切にしたいことを私たち医療者にも自分らしく過ごすためのお手伝いをしたいと思っています。また、繰り返し話し合っていきたいと思います。

現在のあなたのことについて教えてください

1. 今後の病気や生活について、気になる事がありますか。当てはまる口に✓をしてください  
 気になる事はない  あまり気にならない  少し気になる  気になる  とても気になる

2. 治療のことや日常生活の中で、気になっていること・心配していることを自由にご記入ください  
 治療  自宅での生活  仕事  経済面  その他 気になっている内容の口に✓をして下さい。

3. からだの症状(痛みや吐き気など)についてお尋ねします

① 現在からだの症状はありますか?  
あてはまる症状に○をして下さい。

痛み	しびれ	はきけ	食欲の低下	眠気
からだのだるさ	息苦しい			
その他( )				

↓  
具体的にどのような状況ですか

② 現在のからだの症状はどの程度でしょうか?  
最もあてはまる数字に○をつけて下さい。

からだの症状はない	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	最もからだの症状
-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----------

4. 気持ちのつらさについてお尋ねします

この1週間の気持ちのつらさを平均して、最もあてはまる数字に○をつけて下さい。

気持ちが最高につらい	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	気持ちがつかさはない
------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------------

5. 当院には身体の苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるための専門の医療者がいます。診察をご希望されますか?  
希望する(身体的緩和の医師・精神的緩和の医師・心理士・がん看護の専門看護師) 希望しない

以下、前回と同様で気持ちに変化はありません。

国立病院機構 九州がんセンター あなたの気持ちの確認用紙 V1.1

現在の  
気がかり

## 【対象】

小児科以外の全診療科の入院患者

## 【方法】

①入院の受付をする際に、問診票と共に、「ACPのQ&A」と「あなたの気持ちの確認用紙」を同封し、自宅で記入してきてもらう

②入院当日に担当看護師が用紙に沿って患者の気持ちや意向を確認

③主治医にも内容を見てもらい、ナースCFで情報を共有してケアに活かす

からだや気持ちの  
つらさのスケール



# ACP「あなたの気持ちの確認用紙 2・3枚目」

6. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下の項目がどのくらい大切とお考えですか？  
当てはまる口に✓をしてください。答えづらい質問は空欄で構いません。

1) 医師と話し合って治療を決めること

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

2) からだに苦痛を感じないこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

3) 自宅や病院など、自分が望む場所で過ごすこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

4) 希望をもって過ごすこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

5) 人に迷惑をかけないこと

大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために、大切なことがあれば、自由にご記入ください

7. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？  
当てはまる口に✓をしてください

- ①まだ治療についての説明を受けていない.....
- ②がんを完全に切り除くこと（がんが完治すること）が目標.....
- ③がんを完全には取り除けないが、がんをできるだけ小さくすることが目標.....
- ④がんを完全には取り除けないが、がんによる症状を和らげることが目標.....
- ⑤よく分からない.....

8. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術を

受けたいと思わない  あまり受けたいと思わない  少し受けたいと思う  受けたいと思う  
 分からない

②標準的ながん治療の継続が望ましいなら、つらい副作用があっても

継続したいと思わない  継続したいと思う  分からない

9. 今までの生活を維持するた

がん治療を優先したい  今の生活を維持したい  分からない

患者の価値観

治療や療養に関する選択肢

現在の病状認識  
治療に関する希望

全身状態の良いときから前もって、  
患者の人間像・意向を互いに認識しておく  
(ACPで医療者の負担軽減にも繋がれたら...)

\*\*\*\*\* 以下、あなたに当てはまらない質問や答えづらい質問は、空欄で構いません。\*\*\*\*\*

10. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について、あなた自身で考えたり、家族(大切な人)や医療者に伝えたことがありますか？

家族にも、医療者にももたいい伝えてある  家族には伝えていないが医療者には伝えていない  
 医療者には伝えていないが家族には伝えていない  考えているが家族にも医療者にも伝えていない  
 考えたことがない  分からない

11. からだがつらい時の医療に関する希望(してほしくない事など)について医療者と話し合いたいですか？

今、話し合っておきたい  今は話し合いたくないがゆくゆくは話したい  
 今も今後もし話し合いたくない  説明を受けてから改めて考えたい  分からない

12. からだがつらいなどの理由で自分の意思表示が難しい場合、どなたに(家族等)意思決定を、任せたいですか？  
(意思決定を任せたい人のお名前: \_\_\_\_\_ 続柄: \_\_\_\_\_)

13. からだがつらい時に過ごす場所として、「どのような場所で過ごしたいか」また、その療養場所で「どのようなケアが受けられるのか」などを医療者へ相談したいですか？  
例) 自宅で過ごす時の訪問診療について、緩和ケア施設について、がんセンター以外の病院について

今、医療者へ相談したいことがある (相談したい内容: \_\_\_\_\_)  
 からだがつらくなった時に相談したい  
 その時にならないと分からない

# ACP「あなたの気持ちの確認用紙」

1 / 3 ページ

患者ID: \_\_\_\_\_ 生年月日: \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_  
方名: \_\_\_\_\_  
氏名: \_\_\_\_\_ 性別: \_\_\_\_\_ 診療科: \_\_\_\_\_

あなたの気持ちの確認用紙 ～自分らしい生活を送るために～

記載後、看護師にお渡しください

\* この用紙は治療の同意書ではありません。  
治療やケア、生活のことで気持ちに変化があれば、その都度医療者へお伝えください。

記載日 西暦 年 月 日 記載者氏名 ( 続柄: )

病気になる、治療や生活などについて不安になることがあると思います。  
この確認用紙を用いて、今後の治療のことや大切なことを考えてみましょう。そして治療のことだけでなく、生活の中で大切にしたいことを私たち医療者にも伝えてください。私たちは、患者の意思を尊重し、自分らしく過ごすためのお手伝いをしたいと思っています。気持ちや考えはその時々で変化しますので、繰り返し話し合っていきます。

現在のあなたのことについて教えてください

1. 今後の病気や生活について、気になる事がありますか。当てはまる口に✓をしてください  
 気になる事はない  あまり気にならない  少し気になる  気になる  とても気になる

2. 治療のことや日常生活の中で、気になっていること・心配していることを自由にご記入ください  
 治療  自宅での生活  仕事  経済面  その他一 気になっている内容の口に✓をして下さい。

5. 当院には身体の苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげるための専門の医療者がいます。  
診察をご希望されますか？  
希望する ( 身体的緩和の医師・精神的緩和の医師・心理士・がん看護の専門看護師 )  
希望しない

以下、前回と同様で気持ちに変化はありません。

国立病院機構 九州がんセンター あなたの気持ちの確認用紙 V1.1

1枚目は  
苦痛スクリーニング  
になっている

全身状態の良い時から、患者(家族)の意向を  
医療者間で互いに認識するためのツール

患者・家族が考えられる部分から、話し合っていく  
がんという疾患を受け止める一つのプロセスとなる



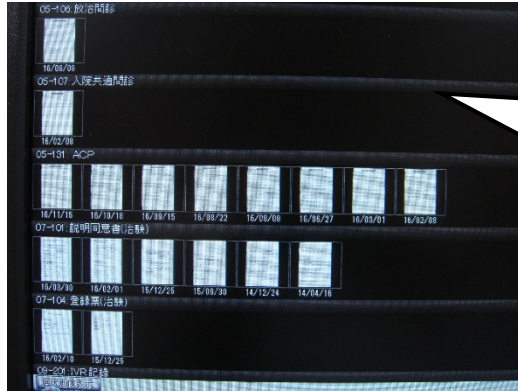
患者・家族の考えるきっかけ  
患者・家族と医療者の  
コミュニケーションのきっかけ



医療スタッフが、患者・家族の  
意向に沿った  
関わりを持つことができる

変化がなければチェックし、負担がかからないようにしている！

# ACP「あなたの気持ちの確認用紙」



入院の度にスキャン追加され、  
気持ちの変化が読み取れる  
(ACPでいうプロセス過程)  
時間軸と価値観軸

## 200X年+1年12月：脳転移治療の入院

5. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下の項目がどのくらい大切とお考えですか？  
当てはまる口に✓をしてください。答えづらい質問は空欄で構いません。

1) 医師と話し合っ**て治療を決めること**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

2) **からだに痛みを感じないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

3) **自宅や病院など、自分が望む場所ですごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

4) **希望をもって過ごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

5) **人に迷惑をかけないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために、大切なことがあれば、自由に記入ください  
 痛みが早くから身を使いたいと思っています。

6. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？  
当てはまる口に✓をしてください

①まだ治療についての説明を受けていない   
 ②がんを完全に取り除くこと（がんが完治すること）が目標   
 ③がんを完全には取り除けないが、がんをできるだけ小さくすることが目標   
 ④がんを完全には取り除けないが、がんによる症状を和らげることが目標   
 ⑤よく分からない

7. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術   
 受けたいと思わない  あまり受けたいと思わない  少し受けたいと思う  受けたいと思う  
 分からない

②標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、わずかで効果が期待できる可能性があるなら、つらい副作用があっても、がん治療   
 継続したいと思わない  あまり継続したいと思わない  少し継続したいと思う  継続したいと思う  分からない

8. **今後の生活を維持するために、がん治療と共に、あるいはがん治療よりも優先したいことがある口に✓をしてください**

がん治療を優先したい  他に優先したいことがある（内容：  
 分からない

## 200X年+1年2月：4次治療の入院

5. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下の項目がどのくらい大切とお考えですか？  
当てはまる口に✓をしてください。答えづらい質問は空欄で構いません。

1) 医師と話し合っ**て治療を決めること**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

2) **からだに痛みを感じないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

3) **自宅や病院など、自分が望む場所ですごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

4) **希望をもって過ごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

5) **人に迷惑をかけないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために、大切なことがあれば、自由に記入ください

6. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？  
当てはまる口に✓をしてください

①まだ治療についての説明を受けていない   
 ②がんを完全に取り除くこと（がんが完治すること）が目標   
 ③がんを完全には取り除けないが、がんをできるだけ小さくすることが目標   
 ④がんを完全には取り除けないが、がんによる症状を和らげることが目標   
 ⑤よく分からない

7. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術   
 受けたいと思わない  あまり受けたいと思わない  少し受けたいと思う  受けたいと思う  
 分からない

②標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、わずかで効果が期待できる可能性があるなら、つらい副作用があっても、がん治療   
 継続したいと思わない  あまり継続したいと思わない  少し継続したいと思う  継続したいと思う  分からない

8. **今後の生活を維持するために、がん治療と共に、あるいはがん治療よりも優先したいことがある口に✓をしてください**

がん治療を優先したい  他に優先したいことがある（内容：**疼痛緩和(痛み止め)**）  
 分からない

## 200X年+2年4月：症状緩和目的入院

5. あなたにとって、自分らしく過ごすために、以下の項目がどのくらい大切とお考えですか？  
当てはまる口に✓をしてください。答えづらい質問は空欄で構いません。

1) 医師と話し合っ**て治療を決めること**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

2) **からだに痛みを感じないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

3) **自宅や病院など、自分が望む場所ですごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

4) **希望をもって過ごすこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

5) **人に迷惑をかけないこと**  
 大切に思わない  あまり大切に思わない  少し大切に思う  大切に思う  
 とても大切に思う

その他、上記以外で、自分らしく過ごすために、大切なことがあれば、自由に記入ください

6. 医師から治療の目標について、どのような説明を受けましたか？  
当てはまる口に✓をしてください

①まだ治療についての説明を受けていない   
 ②がんを完全に取り除くこと（がんが完治すること）が目標   
 ③がんを完全には取り除けないが、がんをできるだけ小さくすることが目標   
 ④がんを完全には取り除けないが、がんによる症状を和らげることが目標   
 ⑤よく分からない

7. あなたはどのような治療を希望されますか？当てはまる口に✓をしてください

①抗がん治療や手術   
 受けたいと思わない  あまり受けたいと思わない  少し受けたいと思う  受けたいと思う  
 分からない

②標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、わずかで効果が期待できる可能性があるなら、つらい副作用があっても、がん治療   
 継続したいと思わない  あまり継続したいと思わない  少し継続したいと思う  継続したいと思う  分からない

8. **今後の生活を維持するために、がん治療と共に、あるいはがん治療よりも優先したいことがある口に✓をしてください**

がん治療を優先したい  他に優先したいことがある（内容：**疼痛緩和(痛み止め)**）  
 分からない

# 医師－看護師間での情報共有

- 経時記録にACPの内容を残し、その内容を医師や看護師が読むことで情報共有する



## ACPに関する記録方法

内容を記載したら、詳細登録を押し**重要度の「ACP」**を選択し登録する。  
カテゴリーは「説明/ACP」に分類される

**看護師:** 患者の記載や聴取した内容で重要なこと、  
医療者間で共有した方が良い内容を記録に残す  
問題ない場合も「問題なし」と記載し**全員記録残す**

**医師:** **入院毎**に**重要度の「説明・ACP」**の内容を確認  
必要に応じて「あなたの気持ちの確認用紙」を確認  
病棟によっては、主治医が必ず用紙に目を通す部署もある

# 意思決定支援・ACPに関する医療者間の情報共有入力画面



拡大

カルテ上に  
記載する欄のタグ  
ここを押すと時系列の  
カルテ記載をみる事ができる

カルテ・オーダー入力 - [カルテ閲覧]  
ファイナル(F)・表示(V)・ヘルプ(H)

99991620 テスト カノフ  
テスト 緩和1 様  
平成02年10月01日生(24歳5ヵ月) 160.0cm / 50.0kg / 1.5 ml / BMI 19.5

時系列

2015年(平成27年)  
03月  
27日(再)シニコ:次島 彰

2014年(平成26年)  
04月  
09日(入)連絡:  
07日(入)治療:  
07日(入)連絡:

2013年(平成25年)  
入院開始  
2013/09/01~2015/02/10  
2015年  
2014年  
2013年

重要度

- 1: 重要度選択なし
- T: 現症
- 2: 患者説明
- 4: コンサルト
- 5: 放射線治療
- 6: ショートサマリー
- 7: ACP
- C: 治療
- U: 臨床試験
- E: 緩和ケア
- F: 返書
- G: ICT
- H: NST
- I: 化学療法記録
- J: 支援センター介入記
- K: 医師コンサルト
- L: 看護師コンサルト
- M: 合同コンサルト
- N: リハビリコンサルト
- O: がん看護専門外来
- P: がん患者のセリフ

日々の  
ACP関連の  
カルテ記載  
ができる

# ACP(アドバンスケアプランニング)の 目的と大切にしていること

- 「あなたの気持ちの確認用紙」を記入することで、**患者自身が後のことを考えるきっかけ**になり整理ができる
- 患者の気がかりや希望・治療の認識を**医療者間で共有し、今後の方向性を共有**することができる
- 治療や生活についての**患者の考えを引き出す**コミュニケーションができる
- 終末期になって患者・家族が戸惑わなくてすむように、**早くから「もしも」の時のことを考える**ことができる

\* 患者・家族と話し合うプロセスを大切にす

\* 患者・家族と共に悩んだり、揺れたりできる存在になる

\* 患者が記入していない場合は、無理強いして確認しなくて良い  
→ただしその状況(考えたくないサイン)を共有しておく

# 患者が記入してきた内容への対応

- 患者が気になることがある、相談したいこと(聞きたいこと)があると記入している場合は、内容を確認しどのように対応するかをカンファレンスで検討→その検討内容も【ACP】の記録に残す。

**患者には今後の対応を返答する！！**

## <経過記録への記載例>

- ◆ 今後の療養場所について聞きたいと記載あり。内容を確認し支援センターとの面談の日時を設定した
- ◆ 気持ちのつらさがスケール8。不眠あり。サイコオンコロジー科の紹介を行なうが、現在は不要とのことで様子見る。必要時介入検討。
- ◆ 子供のことが心配と記載あり。現在は問題ないが、今後必要時はチャイルドサポート介入も検討できることの情報提供を行う。

**患者が記入してくれた貴重な内容を「聞きっぱなし」にしない！！**

実際に導入後の結果・反応

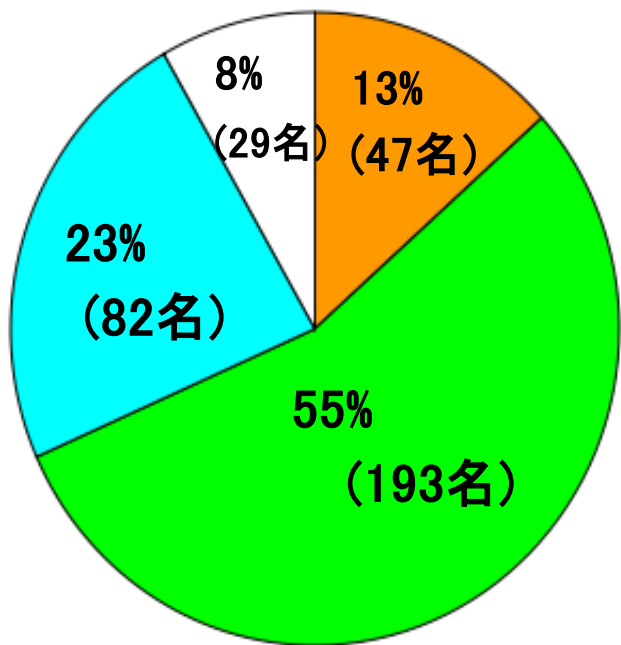


# 当院の患者が解答したACP結果①

当院「あなたの気持ちの確認用紙」で回答した患者の結果

『医師から、治療の目標について、どのような説明がありましたか』

遠隔転移のある(Stage IV)成人がん患者 N=351



正しい  
目標認識

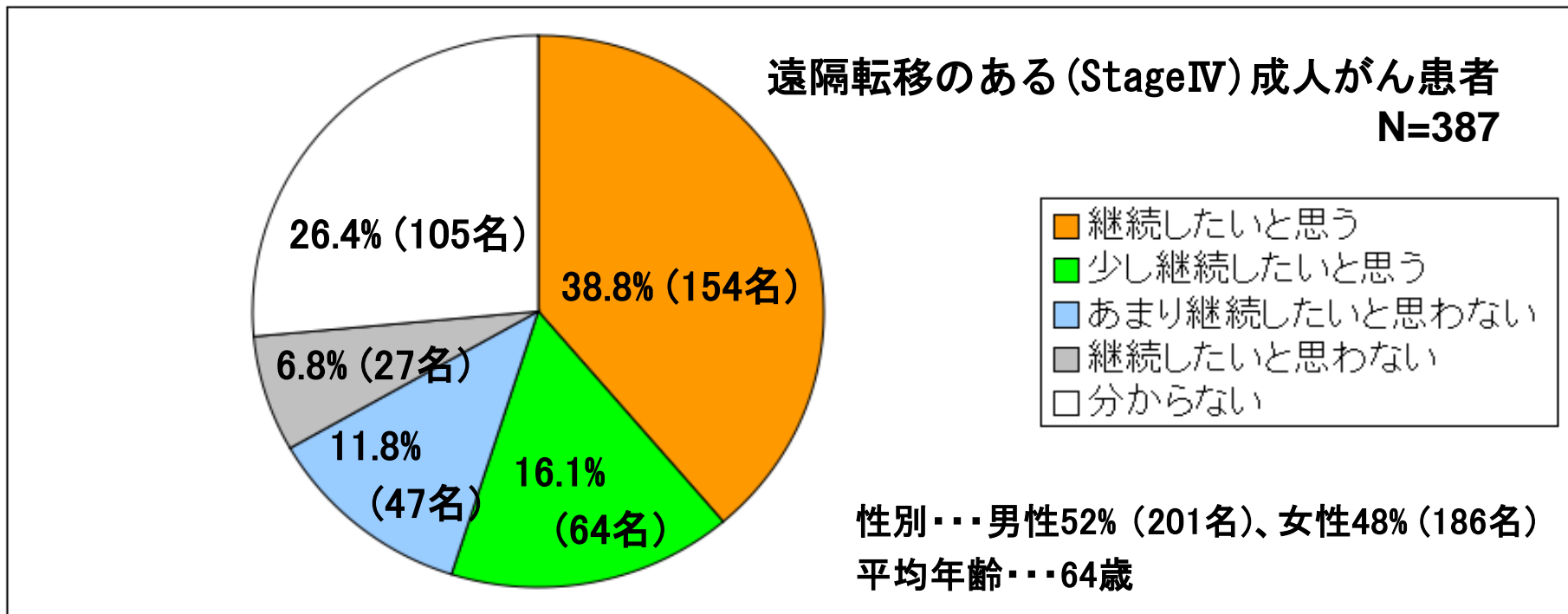
- がんを完全に除去すること
- がんを完全には取り除けないができるだけ小さくすること
- がんを完全には取り除けないが症状を和らげること
- 分からない

78%(275名)が『がんを完全には取り除けない』と正しい認識

# 当院の患者が解答したACP結果②

当院「あなたの気持ちの確認用紙」で回答した患者の結果

『標準的ながん治療の継続が難しくなった場合でも、わずかでも効果が期待できる可能性があるなら、つらい副作用があっても、がん治療を……』



**55% (218人)の進行がん患者が『つらい副作用があっても、がん治療をしたい』**

# 実際にACPを導入して(患者)

40代 男性 肺癌

家族のために、自分は最期まで精一杯治療を受け続けたい  
治験でも何でもできる治療があればそれに賭けたい



60代 男性 膵臓癌

この用紙を見ながら大切なことを考えてたら、  
抗がん剤治療ではなく自分らしい生活を大事にしたいと思った  
治療はせずに家で好きなことをして過ごしたい

50代 女性 乳癌

治療は頑張りたいけど、最近とても体がきつい  
ホスピスの話しも聞いておきたい...



# 実際にACPを導入して（医療者）



看護師

患者さんが大切にしていること、治療に対する認識など聞きやすくなった（きっかけとしてのコミュニケーション）

看護師

記入したがない患者とのコミュニケーションが難しい  
時間に追われて患者が書いてくれた内容を詳しく聞けていない



医師

この用紙に患者が気がかりなことや様々な思いを書いているので、先に読んでおくと説明がスムーズに行く

医師

大事な事は自分で聞いているので、それ以上の情報はこの用紙からは得られない。何度も書いて患者の負担になるのでは？



# ACP(アドバンス・ケア・プランニング)で大切にしたいこと

## 過去

事前意思表示  
ライフレビューから推測



## 現在

今の気持ち  
苦痛が緩和された時に確認



## 未来

本人にとっての最善の利益  
延命した場合の生活は？  
療養の場は？家族の生活は？

過去と現在を知ったうえで、  
さりげなく雑談しながら未来のことを話す

- 家系図(子供は?)
- 家族の既往歴(がんで亡くなってないか)
- 患者の既往歴(過去の苦労歴は)
- 仕事歴(仕事への誇りは)
- 自らの考える性格
- 患者の困難時のコーピングスタイル(対処法)
- **健康観を探る(健康に関する希望-目標)**



# 意思決定支援の中で大切にしたいこと

- 患者・家族とのコミュニケーションに影響を及ぼす“医療者の価値観”を自覚しておく
- 人それぞれに生きてきた歴史と物語が存在し患者の言動には、その人なりの意味がある→その人の人生はその人しか生きることができない
- 病の受け止めも対処の仕方もみな違う。その違いを受け止めるところから治療、ケアが始まる  
それはその人本来のありようを信頼し待つ姿勢に繋がる  
患者の価値観、人生観、死生観、治療への期待、いのちに向き合う姿勢  
予期せぬことが起こった際の対処方法、人的サポート、家族背景など
- 忙しい毎日の中でも、意味ある時間・意図的な問いを心がける
- 「自分で決めた」「自分達で決めた」「医療者と良く話し合っで決めた」という納得感が大事



# ご清聴ありがとうございました



「厚労省」、「緩和ケア」でweb検索(ホームページ下方に記載)  
緩和ケアスクリーニングに関する事例集(九州がんセンター)参照